

日本海海洋資源 フォーラム in石川

参加無料

事前申込制

日本海でのエネルギー資源の開発促進に向けて、
将来有望な資源として注目されている
メタンハイドレートに関するフォーラムを開催します。

日時

2026年1月14日(水) 13:00~15:00
[受付12:30~]

会場

ANAクラウンプラザホテル金沢 3階「鳳」
(金沢市昭和町16番3号)

13:00

開会挨拶

13:20

基調講演

「日本のエネルギー政策と
メタンハイドレート研究開発に関する政府の取組み」

経済産業省資源エネルギー庁 資源・燃料部 資源開発課長 長谷川 裕也 氏

13:50

特別講演

「これまでの表層型メタンハイドレートの
研究開発に係る取組み」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 エネルギープロセス研究部門

総括研究主幹 天満 則夫 氏

14:30

促進対話

「国と日本海連合構成府県の知事等による意見交換」

[出席者(予定)]

経済産業省資源エネルギー庁、花角新潟県知事(会長)、その他日本海連合構成府県知事(代理)、
青山 繁晴 環境副大臣(オブザーバー参加)

15:00

閉会

主催:海洋エネルギー資源開発促進日本海連合

[青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県]

メタンハイドレート (methane hydrate) とは

メタンハイドレートは、低温・高圧の状態で結晶化した水分子のかごの中にメタン分子が入り込んだもので、一見すると、色白で、触ると冷たい、氷のような物質です。

中に入り込んでいるメタンは、発電や都市ガスに使われる天然ガスの主成分で、燃える性質を持っており、1m³のメタンハイドレートから、160～170m³ものメタンガスが発生します。

白く冷たいメタンハイドレートに火を近づけると、発生したメタンガスが勢いよく燃えることから、メタンハイドレートは「燃える氷」と呼ばれることがあります。

日本は、エネルギー資源の約9割を海外から輸入しており、日本近海に大規模な量が存在すると推定されているメタンハイドレートは、新しいエネルギー資源として注目されています。



「人工」のメタンハイドレート

出典:MH21-S研究開発コンソーシアム

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合（会長：花角新潟県知事）は、日本海における海洋エネルギー資源の開発促進を目的として、日本海沿岸12府県が連携し、日本海におけるメタンハイドレート、石油、天然ガス等の海洋エネルギー資源の開発促進に向けた情報収集、調査研究、国への提案など、多彩な活動を展開しています。

公式WEBサイト

<https://www.nihonkairengou.jp/>

海洋エネルギー 日本海連合

検索

お申込み方法

令和7年12月22日(月)までに
右記QRコードから
お申し込みください。



※参加申込でいただいた個人情報は当フォーラムの目的以外には使用いたしません。

定員100名 先着

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

会場:ANAクラウンプラザホテル金沢 3階「鳳」

JR金沢駅兼六園口(東口)出口→徒歩約1分

小松空港→高速バス小松空港から金沢駅行き約45分 金沢駅下車→徒歩約1分

※会場の駐車台数には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの場合、近隣のコインパーキング等をご利用ください(駐車料金は各自負担となります)。

お問い合わせ先

石川県企画振興部企画課 TEL:076-225-1326

会場MAP

